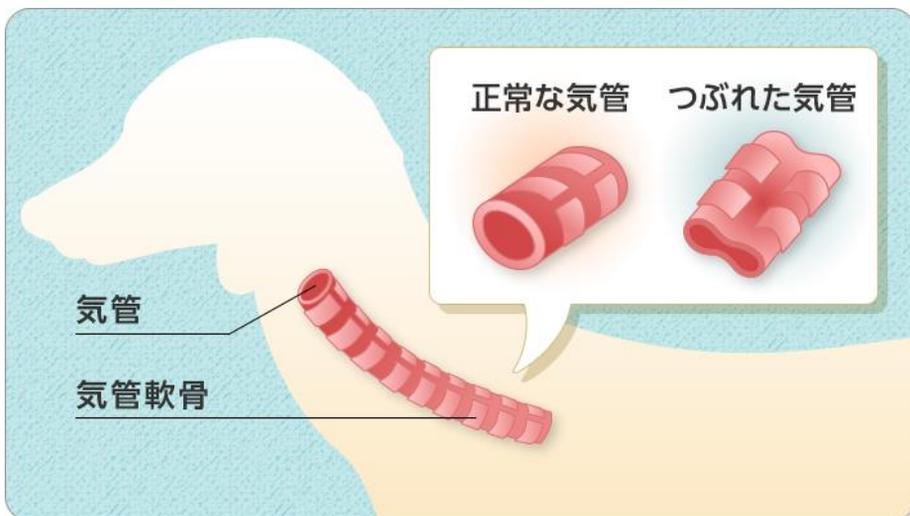


気管虚脱とは

気管の形状を支える軟骨が歪んでしまい、気管を筒状に保てなくなる疾患で、小型犬に多いとされています。また、非常に活発な子が首輪を強く引っ張られた際に軟骨が変形してしまうこともあります。

《症状》

- 咳
- ガーガーという呼吸音
- チアノーゼ(舌が紫になる)



《治療》

残念ながら軟骨を修復することは出来ず、咳や呼吸を楽にしてあげる緩和的な治療になります。

■ 内服薬

気管支拡張剤や消炎剤、咳止めを使用します。

■ ネブライザー

気管支拡張剤などのお薬を霧状にして気管に直接届ける治療です。

病院で行う他、治療が長期化する場合やなるべくストレスを避けたい場合、通院が難しい場合などは、ネブライザー用の機械を購入してご自宅で行う場合もございます。

■ 外科手術

気管内に金属でできた網目状のステント(筒)を入れることで気管の形状が維持できるようにする手術です。

まずはステントのサイズを決めるために、全身麻酔をかけて複数枚のレントゲンを撮影します。

そのレントゲンをもとに適したサイズのステントを取り寄せ、届き次第手術に臨みます。

ステントを設置する際も全身麻酔が必要です。

術後も異物感からしばらく咳が続く場合がございますので、内服薬やネブライザーで補助していきます。

《生活で気を付けていただくこと》

✓ 減量

体重が増えると首周りのお肉が増え、気管を圧迫します。また、気管虚脱により熱交換もうまくできなくなり、肥満と併せて熱中症になりやすいです。

気管虚脱+肥満は命に関わる場合もありますので、ちょっと痩せ気味くらいを目指して減量しましょう。

✓ 首輪を避ける

首を圧迫しないハーネスにしましょう。

✓ 興奮を避ける

吠えた時や興奮したときに症状が悪化する場合があります。もともと元気な子では難しいかもしれませんが、穏やかな生活を心掛けたり、「待て」の練習をしてみましょう。